

第2期愛媛県子どもの体力・運動能力向上推進3か年計画の概要

資料1

体力・運動能力の現状

- 体力合計点は、小中男女とも低下したが全国平均との差はほとんど変化がみられなかった。
- 敏捷性(反復横とび)、持久力(20mシャトルランなど)が全国平均を上回っている。
- 筋力(握力)、柔軟性(長座体前屈)、投運動(ソフトボール投げなど)は全国平均を下回っている。

運動機会の確保

体力向上のために



- 基本方針
 - ・ 体育・保健体育科の授業を充実させることを基本に、児童生徒の運動の日常化に向けた取組の充実を目指す。
 - ・ データを活用し指導に生かすとともに、全教職員が共通理解のもと体育的行事、体育的活動の充実を目指す。
 - ・ 家庭、地域のスポーツ関係団体やスポーツクラブ等と連携し体力向上が図られるよう、行政機関や教育機関との連携を密にし、支援体制の充実を目指す。

04つの柱 体育・保健体育科の授業の充実 ■ 自己への挑戦 ■ 運動習慣の定着 ■ 生活習慣の質の向上

目標：学校体育の質の保証・向上 ～体育的活動を充実し、全国平均以上の体力を維持～
【成果指標】 全国体力・運動能力等調査における、体力合計点の県平均が全国平均以上である。

えひめの子ども像(愛顔(えがお)いっぱい子ども)

運動に前向きになる(体育・保健体育科の授業)

- ・ 体育の授業は「楽しい・やや楽しい」の児童・生徒の割合・・・95%

体力向上を目指す(自己への挑戦)

- ・ 体力の向上について自分なりの目標を立てている児童・生徒の割合・・・80%



日常的に運動に取り組む(運動習慣)

- ・ 1日の運動時間60分以上の児童・生徒の割合・・・50%(小)、80%(中) ※体育・保健体育科の授業は除く

規則正しい生活習慣をもつ(生活習慣)

- ・ 毎日朝食を食べる児童・生徒の割合・・・80%
- ・ 睡眠時間が確保されている児童・生徒の割合・・・80%

具体的な取組

よく分かる授業の創造



「主体的・対話的で深い学び」を中核に据えた授業改善
「指導と評価の一体化」を一層促す授業改善

環境づくりの工夫



えひめ子どもスポーツITスタジアムの活用



望ましい生活・運動習慣の確立